

## 徳地森の子くらぶ② ～冬の森を楽しもう～

令和2年12月19日(土)～20日(日)

### 【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

### 【参加者】

23名(男子11名、女子12名/3年生11名、4年生12名)

### 【プログラムの内容】

#### 1日目

11:00 はじまりの会  
11:15 みんなであそぼう!  
12:40 昼食・昼休み

#### 2日目

7:10 ラジオ体操をしよう  
9:30 ホットドッグを作ろう

### はじまりの会・みんなであそぼう!



初対面で緊張した面持ちであった参加者は、様々なゲームを通じて、緊張をほぐしていった。少しずつ笑顔や笑い声が増え、グループごとに活動した。

### 冬の森を探検しよう



自然の中に人工物を隠し、それを探すことで自然へと目が向くように働きかけた。その後、グループごとにテーマを与え、それに合った写真を森の中で探すフォトリエンターリングを行った。各グループ4つのテーマで写真を撮った後に、グループごとに新聞にまとめた。

新聞にまとめたものをプロジェクターで写し、グループごとに発表した。テーマに合わせた自然を探すことで、自然に対する見方が色々あることに気付くことができた。



### 火を見つめよう



ボランティアが火の神、火の巫女に扮し、キャンドルのつどいを行った。じっと火を見つめる時間や暗闇を感じる時間を設け、自己や1日をじっくりと振り返ることができた。

### ラジオ体操をしよう



早起きをし、元気にラジオ体操を行った。朝早く体を動かすことで、体の調子を整えることができた。多くの参加者は、朝食でおかわりをしていた。

### ホットドッグを作ろう



ホットドッグの作り方について説明を聞いた後、火が燃えるための条件をみんなで考え、実験を交えながら確かめた。

その後、自分たちでまきを割り、火おこしに挑戦した。何度か火おこしを失敗したが、失敗から学んでいる様子が伝わってきた。

ホットドッグは焦げた部分もあったが、みんなおいしそうに食べていた。



### 【参加者の声】

- ・「初めて出会った子と友達になれた」
- ・「ホットドッグを自分で作って食べたのが楽しかった」
- ・「地図を見てみんなと一緒に行動できた」
- ・「マッチで火をつけた」

### 【成果】

アンケートの結果は、参加した22人から満足度4(最上位評価)をいただき、1名は満足度3だった。

### 【課題】

フォトリエンターリングでは、写真を撮る時間を思ったより長く設定しすぎた。限定10枚しか写真を撮れない条件で活動を始めたが、子どもたちはあっという間に撮り終えていた。もっと精査して写真を選ぶような声かけや方法を検討する必要がある。